

研究の概要

1. 研究主題

学びを楽しむ子の育成 ～国語科の授業を通して～

2. 主題設定の理由

本校では、昨年度から「国語科」に焦点を絞り、説明的文章を中心に確かな「読む」力の育成を目指し、研究と実践を進めてきた。授業設計の工夫、言語活動の質の向上、言語環境の充実に重点を置いて授業改善を図ってきたことで、少しずつではあるが、教職員の国語科の授業づくりに関する意識と意欲の向上が見られるようになってきた。しかし、その一方で、つきたい力の見極めの難しさや、児童の主体的な学びの姿につながっているのかといった課題が浮かび上がってきた。

そこで、新学習指導要領の全面実施となる今年度は、「学びを楽しむ子の育成」を主題に、物語的文章を中心に、学びの原動力を与える授業づくりに重点を置くことにした。

児童が、学ぶことに対して興味や関心、さらには達成感や有用感など、「学びの楽しさ」を感じれば、自ら問いをもち、考え始めていくと考える。そして、自ら進んで課題解決に取り組むことで、言葉の力の育成につながっていくとも考える。児童の学びが連続し、発展していく国語科の授業づくりを行なっていくことで、「学びを楽しむ子の育成」を目指すことにした。

3. めざす児童の学びの姿

- 主体的に学びに向かう子
- 考えや思いを豊かに表現できる子
- 学びをつなぐ子

4. 主な研究内容

(1) 授業設計の工夫

◇つきたい力の見極め

- ・指導事項の共通理解と学習内容の系統性の把握
- ・単元末についた力の自己評価の設定

◇課題設定・単元構成の工夫

- ・必要感のある学習課題の設定
- ・単元の導入の工夫（教材との魅力的な出会いの工夫）
- ・見通し・目的意識をもって取り組むことができる学習計画

◇教材研究の充実

- ・校内研究会の持ち方の工夫
- ・学年・部会での教材研究の実施

〈いしかわ学びの指針12か条＋ 1・2・6条〉

(2) 言語活動の質の向上

◇言語活動の選定・設定の工夫

- ・単元でつきたい力の明確化
- ・言語活動の特徴の吟味
- ・言語活動の教師モデルの作成

◇言葉の力を育てる環境作り

- ・語彙集（ことばの宝箱）の活用
- ・条件作文の取り組み
- ・校内の言語環境の整備
- ・読書活動の推進

〈いしかわ学びの指針12か条+ 3・4・5条〉

【学習を支える基盤づくりとして取り組むこと】

① 基礎的・基本的な知識及び技能の定着

- ・学習習慣・学習規律の徹底
- ・学期末・学年末漢字計算テスト、パワーアップタイムの計画的実施
- ・活用問題の実施

〈いしかわ学びの指針12か条+ 8条〉

② 家庭との連携

- ・家庭学習の手引き作成及び活用
- ・家庭学習強化週間（学期1回）

〈いしかわ学びの指針12か条+ 9・12条〉

③ 良好な人間関係の育成

- ・生徒指導の視点に立った授業づくり（自己決定・自己存在感・共感的な人間関係）
- ・認め合い、高め合える学級づくり
- ・心と体の基盤づくり

〈いしかわ学びの指針12か条+ 6・8条〉

④ 学び合い学習の充実

- ・「聴き方」「話し方」「話し合い」についての段階的な指導の充実
- ・めざす授業像の作成と共有
- ・授業力向上を目指した日常的な授業改善
- ・主体的な問題解決につながる効果的なICTの活用

〈いしかわ学びの指針12か条+ 7・10・11条〉